

医療と介護の連携に関するアンケート集計（訪問看護ステーション） 中丹西分

1 照会・回答状況

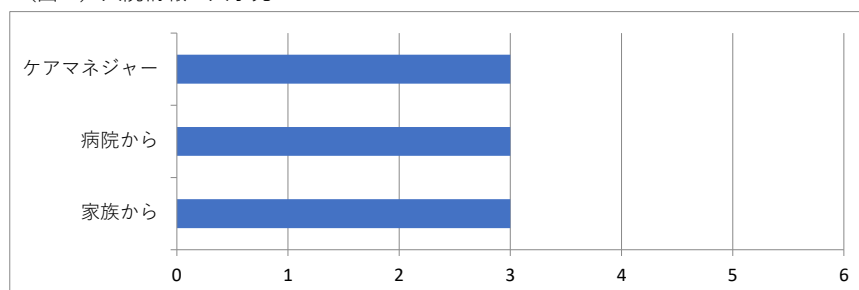
照会数	10件
回答数	9件
回答率	90%

2 アンケート集計結果

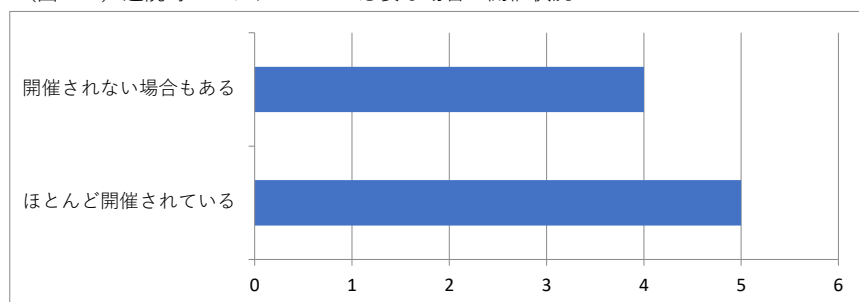
【入院時の連携について】

- ・入院情報の入手先は家族、病院以外にケアマネから入手することもある。
- ・退院時共同指導加算については取得しているところが多い。
- ・退院時カンファレンスについては参加されている場合がほとんどである。
- ・退院時における病院からの情報提供については、基本的には提供されているが、訪問看護ステーション側が知りたい情報（在宅復帰に向けた情報など）でないこともある。
- ・退院調整の際の課題としては退院が急に決まる中でカンファレンスの実施、退院となり調整が難しいことがあがっている。
- ・市外、中丹圏域以外の病院との連携について、市内と比較して難しいと感じることはあまりない。

（図-1）入院情報の入手先



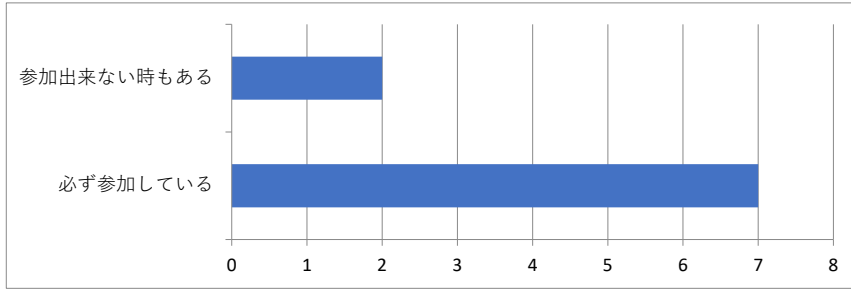
（図-2）退院時カンファレンスが必要な場合の開催状況



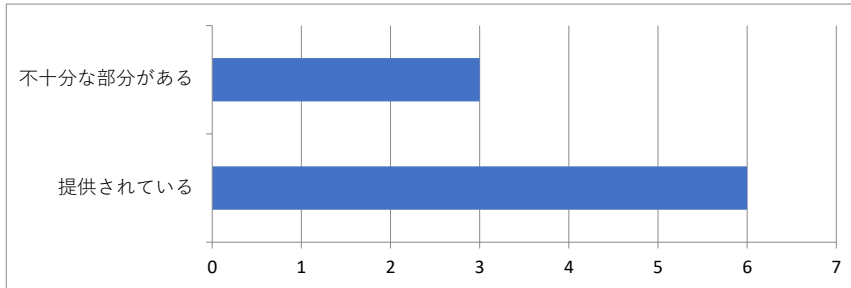
<開催されない理由>

- ・急遽退院が決まった場合や入院前と大きな変化がないとの理由で開催されないことがあった。
- ・開催されても医師の時間調整がつかず参加されない事もあった。

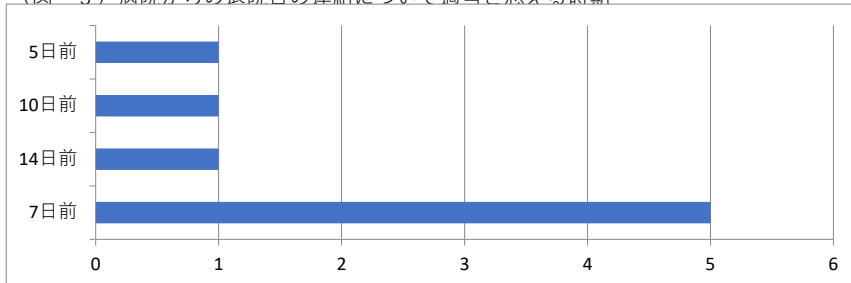
(図-3) 退院時カンファレンスの参加状況



(図-4) 退院時における病院からの情報提供



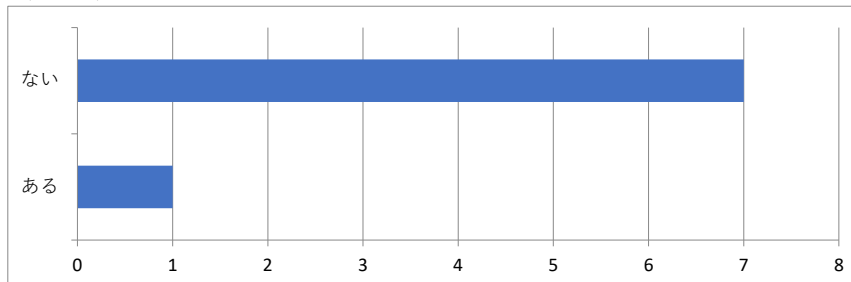
(図-5) 病院からの退院日の連絡について適切と思える時期



退院調整の課題（自由記載から抜粋）

- ・カンファレンスなしで退院の受入をする場合もあるが、相談員からの情報より状態が悪い場合がある。
- ・医療的処置が多い方は早めのカンファレンスを行い、課題を解決し必要に応じ再度カンファスの上退院してほしい。
- ・ターミナルの場合、今しか帰れないと言う事が多く急に退院が決まる事が多いため、退院前のカンファレンス等情報共有出来る所がないと相談員とのやり取りだけでは、病気に対する家族の思いや理解度がつかみきれない。

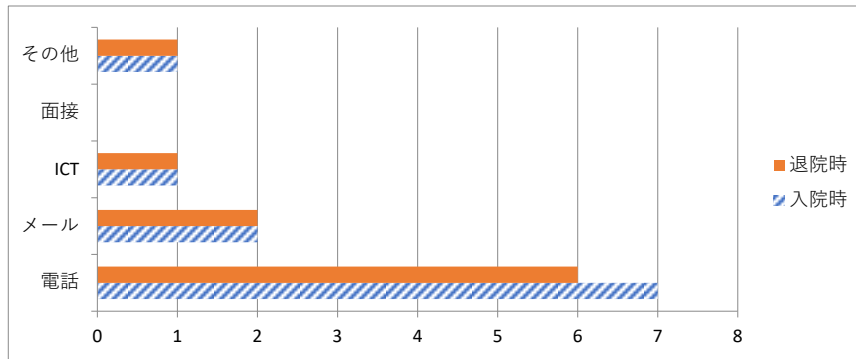
(図-6) 市外、中丹圏域以外の病院で入退院時連携が市内と比較し、難しいと感じること



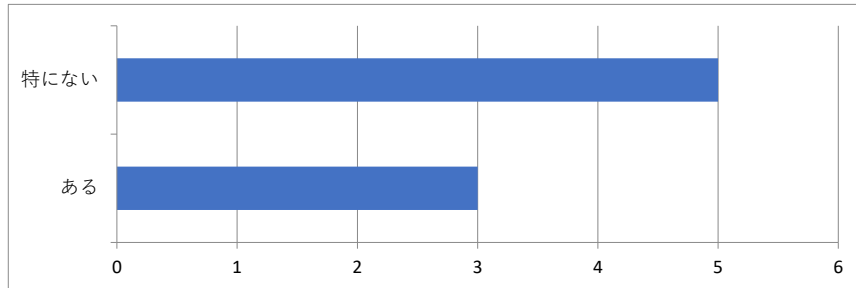
【かかりつけ医との連携について】

- ・入院時、退院時とも連携方法としては電話でのやりとりが最も多い。
- ・かかりつけ医との連携に対する課題としては時間の調整や医師との面談に対する課題があがっている。

(図-7) かかりつけ医との入退院時における連携方法



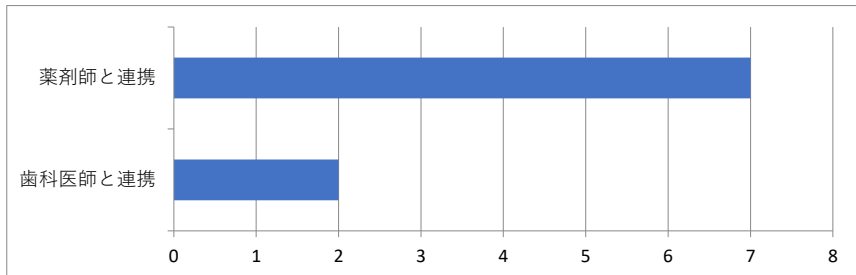
(図-8) かかりつけ医との連携に対する課題



【歯科医師・薬剤師との連携について】

・ 歯科医師については、訪問歯科診療による連携、薬剤師については、残薬調整などの服薬管理による連携が図られており、歯科医師より薬剤師との連携の方が多い。

(図-9) 歯科医師・薬剤師との連携状況



【その他】

・ 医療と介護の連携に関する意見としては、看護サマリーによるケアマネジャーの情報提供の必要性について意見があがっている。

・ 在宅での生活がイメージしづらい事もあるかもしれないが、医療的知識がない家族が介護することを頭において説明や指導を行ってほしい。

・ ICTでの連携をもっと利用してほしい。